

漁 況 海 況 予 報 事 業

仲 村 俊 毅・菊 谷 尚 久・大 川 光 則
涌 坪 敏 明・中 川 賢 三・白 取 尚 実

発 表 誌 名

昭和63年度漁況海況予報事業結果報告書

抄 録

I 海 況

1. 日 本 海

対馬暖流域の水温は 全般に 5 月までは 平年並、6～9 月までは 平年よりもやや低め、10・11 月には 平年よりもかなり低めに推移した。対馬暖流の水塊深度は、6 月までは 平年並で以降 10 月までは 浅め、11 月には 平年よりもやや深めであった。暖流巾は、舟戸作線では 4～6 月に 平年を上回ったものの他の月では 平年を下回った。十三線では 全般に 平年並かやや 平年を下回ることが多かった。北上流量は、4～6 月が 平年並だった他は 平年をかなり下回り 弱勢傾向で推移したものの、11 月には 平年並となった。

2. 太 平 洋

津軽暖流の流勢は、6 月が 平年並だった他は 平年をかなり下回る状態で推移し 弱勢な状態が続いた。親潮系水の分布域は 6・9 月には かなり広範囲に分布するなど 強勢傾向であった。

II 漁 況

沿岸スルメイカの対前年比は、日本海側 59%・津軽海峡 61%・太平洋 117%となっており、全体では 対前年比 70%で 昭和 61 年並の水揚げであった。沖合スルメイカも 対前年比 63%で 昭和 61 年並の水揚げであった。

アカイカは、流網では 過去最高だった 昨年を下回ったものの、近年の好漁況を継続していた。釣による水揚げは 過去最低だった 昨年に若干上回ったものの、依然として低調であった。

太平洋の施網によるマイワシ漁獲量は、対前年比 155%で 昭和 60 年並の好漁であった。